

第4回の授賞式が上海で華やかに 国際的な包装デザインアワードに吹くアジア勢の風

●Pentawards 2010

パッケージデザインのみを対象とする世界規模のコンペティションとしてオンリーワンの存在感を放つ“Pentawards (ペントアワード) 2010”の授賞式が、9月30日、中国・上海の「上海万博」会場内「ベルギー-EUパビリオン」で開催され、主催者を含む約150人の参加者が世界中から集まった。

2010年開催で4回目となるPentawardsには今回、世界中から854点の応募があり、この中から「食品」「飲料」「ボディケア」「ラグジュアリー製品」「その他全般」の категорияで受賞作品を選出。まだ開催回数こそ多くないが、その存在は各国のパッケージデザイナーからも注目度が高く、上海万博に合わせた開催という点を度外視しても、特に今回は日本をはじめとするアジア勢からの応募と受賞が従来にない盛り上がりを見せたようだ。本誌として特に注目したい「飲料」および「食品」の категорияに



授賞式が行われた上海万博会場内のベルギー-EU館

も、日本人および日本企業の受賞が複数認められた。しかもアワード全体の頂点を極める「ダイヤモンド賞」は今回、食品・飲料部門ではなかったが、日本人の頭上に輝いたのだ。(本誌・吉沢文雄、詳細は次号以降で紹介)



世界各国から約150人が参加し上海の夜を盛り上げた授賞式風景